

# 「すべて悔しさをバネに 頑張ってきました」

今回はこの4月1日付けで学長に就任された秋山先生にインタビューし、そのお人柄を皆さんに知っていただくということになりました。



画才の方は芽が出ず北大進学を

学長は道産子ですね。生い立ちをお聞かせください。

私は昭和17年、北海道の深川市生まれです。父親が深川西高校の教員でしたが、転勤がなく、高校までずっとそこで育ちました。

小学校はどんな環境でしたか

深川のはずれの田舎の小学校でした。昭和24年入学ですから、皆貧しく大変な時代でしたよ。中学校までずっと持ちあがりて...

人数は？

一クラス40人くらいで2クラスです。

80人程度ですと顔と名前を完全に覚えてしまいますね。

そのとおりです。兄弟のようにして育ちました。いまでもクラス会をやりますと和気あいあい、あつという間に昔にもどりますね。

高校時代からは

深川西高に進みました。しかし、高校2年まではあまり勉強しませんでしたね。今では誰も信用してくれないのですが、絵を描いてましたね。父親もどこの美術大学に入ればと思ってくれたのか、デッサンを習わせてくれました。しかし画才の方は芽が出ず、北大進学を目指すことにしました。

中学までは野球、30代からはテニス。将棋はアマ3段

北大時代はいかがでした？

当時は文類、理類、水産、医進に分かれて

いて、私は文類でしたが、教養部での成績で志望する学部に進学できるかどうかが決まるシステムでした。教養時代は友人たちといわゆる「青春」を謳歌しました。つまりあまり勉強しませんでした。学部進学にあたっては文科系の花形で、将来つづしがきくと思った法学部を志望しましたが、ぎりぎりでした。で、学部に進んでから、将来どうしようかと考えたとき、教職科目の「教育原理」の単位を落としていたので、親のように教員になる道はすでに閉ざされていました。ただ法学部のゼミ（今村成和教授 後に北大総長）が面白いと思ったので、大学院進学を志すようになりました。もちろん大学院に入ってから勉強しましたよ。

中村睦男北大総長とは？

学部、大学院で中村先生が4年先輩でした。似たような分野（中村総長は憲法、秋山学長は行政法）をやっていたので、その頃から親しくお付き合いさせていただきました。北大法学部といえば、教官同士の野球の対抗戦で学長はいつも先発ピッチャーをなさっていましたね。スポーツがお好きなのですが。

はい、中学までは野球ばかりやってましたからね。私が商大に赴任した当時、学長は實方正雄先生でしてね。實方学長も野球がお好きで、北大法学部との対抗戦をやってはどうかとカップを寄贈して下さり、始まったものです。昔は両校の学長が応援に駆けつけたりして大いに盛り上がりました。懐かしいで

すね。今も続いています。盛り上がりはいまひとつですね。これからは始球式でがんばりたいと思っています。

テニスとは？

30代からです。それまでやったことがないので、最初は本当の初心者でした。これも北大法学部との対抗戦がありますが、しばらくは補欠にもなれませんでした。出してもらえなくても一生懸命応援していましたね。初出場はこの北大との対抗戦で7ペア中5位、若林信夫先生とのペアでした。忘れられない思い出です。若林先生が最近亡くなられたのは本当に残念です。それからはメキメキ腕が上がっていきました。

負けず嫌いのご性格ですか？

そうでもないんですが、これといった能力もありませんでしたから、すべて悔しさをバネに頑張ってきました。

将棋もそうなんですか？

はい、大学時代下宿でまわりが皆やっているのに、弱かったものですから、まったく相手にしてもらえませんでした。悔しくてなんとか追いつこうと、凝りましたね。いまではアマ3段です。町の道場では恥ずかしながら名誉4段ももらっていますけど。

では、いまのところ学内では敵無しですね。

去年までは職員に強豪が二人いたのですが、退職や転勤でいなくなりました。囲碁・将棋部の部長も長年やってきました。結構強い学生がいましたね。私のゼミ生でもあった金内辰明君がいま朝日のアマ名人挑戦者になって有名です。毎年2月頃、学生たちと卒業対局をやることにしました。「わしを負かしてから気持ち良く卒業せい」と言ってね。でも結構本気になって指してましたよ。いまはパソコン相手にときどきやるだけです。とにかく忙しいので。でもパソコンも相当強くなってきました。すんわり勝てません。

学生がずいぶん幼くなった

商大生の話にまいりましょうか、ゼミはすぐお持ちになりましたか？